



二学期も、新庄つ子のがんばった姿、素敵な姿が、とてもたくさんありました。その姿は、運動会、学習発表会などの大きな行事はもちろん、毎日の学習や生活の中などの様々な場面でも見られました。

がんばった二学期！



新庄 shinjou

第8号
令和7年
12月18日
発行者 岡田

12月11日（木）、三・四年が箏の体験をしました。蒜山の法華洋子先生を講師に、箏の楽譜の読み方や演奏の仕方を教えていただきました。初めては恐る恐る触つて、きれいな箏の音が響いてきました。



三・四年生 「箏」の体験学習



樂しかったこと、体験したこと、がんばつて成果が出たこと、工夫してうまくいったこと等を、自分で言語化したり、他者に認めてもらったりすることで自己肯定感が高まると言われています。学校でも活動の振り返りを大切にしています。また、子どもたちの良い行動を見つけ、認める声掛けすることでしょう。

11月28日（金）は人権参観日でした。また、合わせてPTA学習会を実施しました。

人権参観日 PTA学習会



新庄小中学校
ホームページQRコード
「ギャラリー」では、写真で行事や出来事の様子を紹介しています。



11月20日（木）、新庄小中一貫教育研究発表会が開催されました。五年・六年国語『大造じいさんとがん』、七年社会『ヨーロッパ州』の授業公開があり、子どもたちが真剣に課題と向き合つて、いる姿を見ていたことができました。全体会では岡山大学の高旗浩志教授から、「小規模校をメリットとして『学習する主体』を育む授業づくりについてお話をいたしました。

また、PTA学習会は、稻田晴江様を講師に、風水害への対応について考える『様々な人のために自分ができることを考える』『様々な人のために自分ができる』等、人権に関わるいろいろなアプローチで学習が展開されました。教職員が一緒に行いました。小グループに分かれ、具体的な場面を想定して、どう判断しどんな行動をとるか考えました。もしもの時に備えての意識と知識を高めることができました。

11月28日（金）は人権参観日でした。また、合わせてPTA学習会を実施しました。参観授業では、『友達や自分の良いところを見つける』『相手の立場に立つて考える』『様々な人のために自分ができることを考える』等、人権に関わるいろいろなアプローチで学習が展開されました。

11月28日（金）、第三回の学校運営協議会が開催されました。保護者・児童生徒のアンケート結果や学校の自己評価をもとに学校評価をしていただきました。小学校では、「授業の様子を参観すると、先生方はがんばっていると感じる。」、「地域と学校は良く連携できているが、保護者に学校の姿があまり伝わっていないのではないか。」「発達段階に合わせてアンケートの質問内容を検討してはどうか。」そして中学校では、「小中一貫教育での実践交流ができる。」「夢や希望を持つている生徒が多いのはうれしいことだ。」「明確な答えが思いつくように具体的な取組を質問に書いたら良いのでは。」等、多くのご意見をいただきました。今後の学校改善に生かしてまいります。

第三回『がんばり週間』の取組

11月25日（火）～12月1日（月）、中学校の定期考査に合わせて『がんばり週間』を実施しました。前号でも触れましたが、家庭学習の時間、運動時間、睡眠時間、メディアコントロールの記録をして、改善の意識を高める取組です。

集計してみると、・平均の学習時間が学年の目標時間を上回った児童が21人（前回16人）・第二回（十月実施）より平均の学習時間が、多くの児童が18人（前回6人）でした。前回よりもがんばっていることがわかります。

※次回の発行は2月18日の予定です。

自分で自分の行動をコントロールし、力をつけていく新庄つ子になっています。今後ともご家庭でのご協力、よろしくお願ひいたします。



今年は例年と比べて秋が短く、11月18日に初雪、しばらく暖かい日が続きましたが、12月3日には雪が降り、冬らしい気温とお天気になりました。近隣ではインフルエンザが流行し、学校閉鎖や学級閉鎖の学校も出ています。今年のインフルエンザは例年より若い人に流行しやすいと報道されています。今一度マスクの着用や手洗いなど基本の再確認が必要な時期かもしれません。

